



聴覚障害

「聴覚障害」といっても、難聴の種類や程度は様々で、多様な聞こえ方、聞こえにくさがあり、そのことにより支援の必要性や内容が状況によって異なります。

聴覚障害の種類

- 伝音性難聴** 音振動を伝える部分の障害で、音が小さく聞こえる。治療可能。補聴器が有効的。
- 感音性難聴** 音を聞き分ける部分の障害で、音の明瞭さが低下する。何の音が判断できないなど。
- 混合性難聴** 伝音、感音の両方が原因となっている。

聴覚障害の程度

- 軽度難聴** 後ろから話しかけられたり、声が小さいと聞き取れないことが多い。
- 中程度難聴** 普通の会話が聞きづらい、近くの自動車の音にやっと気づく。
雑音下での会話、機械音声(マイク、ビデオ、CD等)、グループディスカッション等はかなりの集中を要する。
- 高度難聴** 大きな声でも聞きづらく、授業受講全般に困難を示すことが多い。
視覚的な手がかり*1を利用して話し言葉を推測することが多い。——障害程度等級 4級~6級
- 重度難聴** 耳元の大きな声も聞きづらい、日常音はほとんど聞こえない。
授業受講全般に著しい困難がある。
視覚的な手がかり*1がないと話し言葉の推測が難しい。—————障害程度等級 2級・3級

*1 板書、ノート、話し手の口の形、顔の表情等

なお、聴覚障害の程度に関わらず、主に第一言語を手話とする者のことをろう者ということがあります。



聴覚障害
とは

聴覚障害のある人の困難さ

音声聞こえないということは、音声による情報を知ることができないということです。そのため、多くの方が共有している情報をどのように補うのかを考える必要があります。また、見た目ではわかりにくい障害のため、誤解を生んでしまうこともあります。ただ、音声聞こえないということ以外にも、様々な困難さがあることをご理解ください。

困難の具体例

- 聞こえにくさ、不便さが一見してわかりにくい。
- 友達の会話に入っていけない。
- 議論についていけない。
- 口頭による連絡や放送がわからない。
- 非常時の情報が得られにくい。



困難なこと

聴覚障害のある人への支援

聴覚障害により、音声情報を収集することが困難な学生に対し、代替手段を用いて情報提供することを「情報保障」といいます。聴覚障害のある学生の存在を認識し、様々な支援手段を活用して、効果的な教育を行う意識をもつことが大切です。

対応・配慮の具体例

物的資源	人的支援	環境調整	その他
紙資料を準備する	ノートテイク(要約筆記通訳)	座席配慮	板書を増やす(キーワードなど)
補聴援助システムの利用	パソコンテイク(パソコン文字通訳) 手話通訳	部屋を暗くしすぎない	明瞭な話し方(はっきり、ゆっくり) 口元が見えるように話す 挙手をしてから一人ずつ話す (グループワーク)

授業の形態(講義、語学科目、グループディスカッション、ゼミ等)によって、状況に適した情報保障を行う必要があります。様々な配慮が必要になる一方、聴覚障害のある学生にとってノートテイク、パソコンテイク、手話通訳、口話、大きな声で話す、人が隣に付くことが精神的な負担になる場合もあります。

コミュニケーション方法

聞こえに制限のある聴覚障害者のコミュニケーション方法は、「保有する聴覚の活用」と「視覚情報の活用」に大きく分けることができます。

【保有する聴覚の活用】

補聴器 人工内耳 補聴援助システム(ヒアリングループ、赤外線補聴、FM補聴、デジタル補聴)

【視覚情報を活用】

口話 話し手の口の形を読み取り(=読話)、発語(発声)を中心とした方法。

- ① 口元が見える状態で、口を大きく開けて、はっきりと話す。
(声の大きさや話す速さを確認しながら、よりコミュニケーションが取りやすくなる)
- ② 内容が伝わったかどうか確認する。

筆談 自分の発言したいことを紙、簡易電子ボード、PCやスマートフォンを用いて、文字で伝える。道具がなくても、空書や手のひらに指でなぞる等の方法もある。

手指サイン 手指、身体、表情等を用いる。

使用しやすいコミュニケーション手段は聴覚障害者各々で異なり、またその場の状況(相手の人数、距離、騒音等)によっても異なります。その時の状況に応じて様々なコミュニケーション手段を組み合わせながら使用することが大切です。



支援について

DRCより

情報保障の必要性は、授業や研究室での活動だけには限りません。式典や行事、履修ガイダンス、さらに事務窓口での各種手続き等においても、情報保障を行う必要があります。コミュニケーションが成立していると思っていても、重要な情報が適切に伝わっていないことがあるかもしれません。重要な情報はメモに書いてお互いに確認する等、確実な意思疎通が行えるように心がけてください。